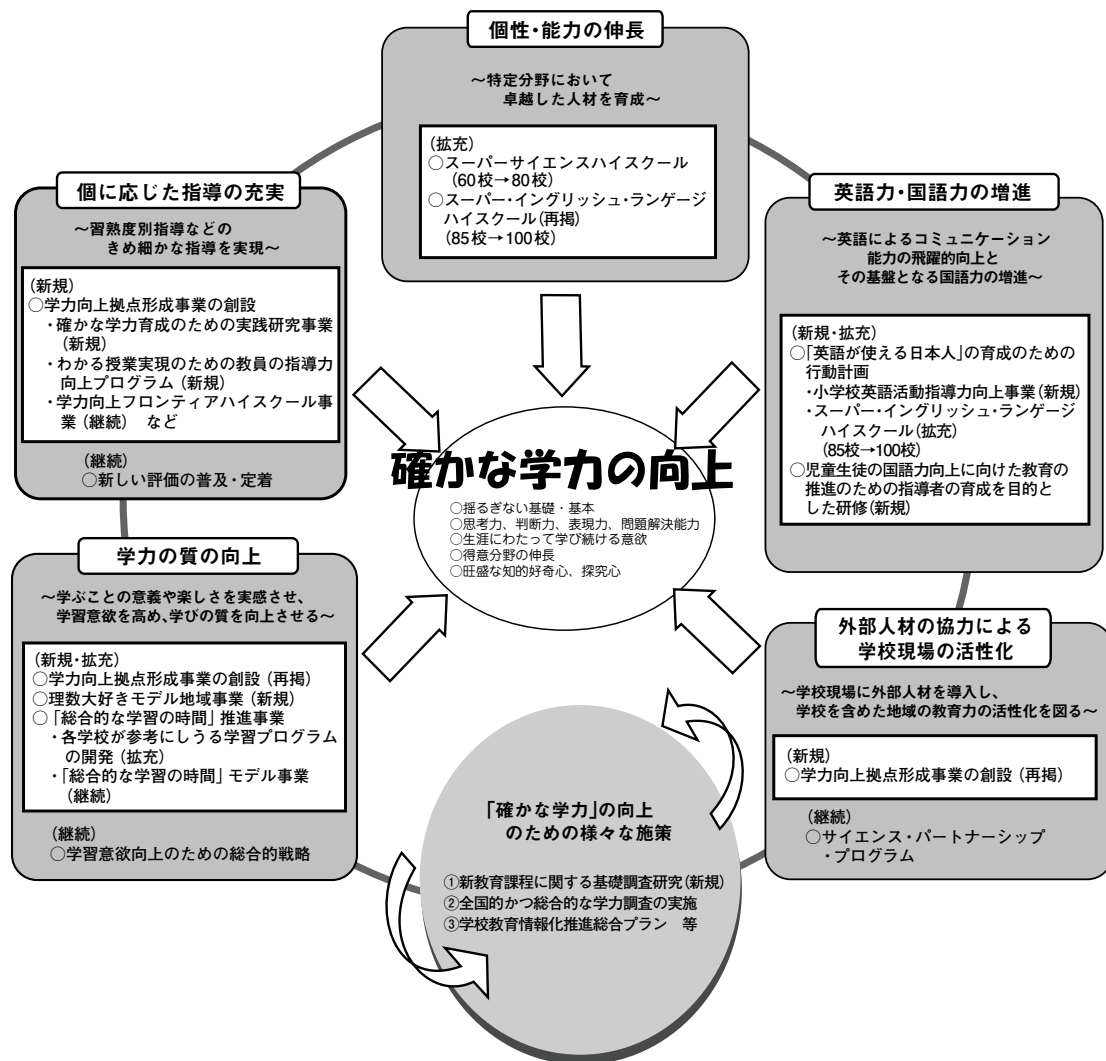


平成 17 年度文科省概算要求特集 (初等中等教育局)

学力向上アクションプランの推進

「確かな学力」を飛躍的に向上させるための総合的施策



《解説》

文部科学省が財務省に提出した平成17年度概算要求では『確かな学力』を飛躍的に向上させるための総合的施策の柱となるのが「学力向上アクションプランの推進」である。そして平成17年度の要求額は平成16年度飛躍200%の9,171百万円となっている。

また、『総合的な学習の時間』推進事業に関連して「各学校が参考にしうる学習プログラムの開発、モデル授業の実施などを掲げている。

平成17年度 文部科学省概算要求【I】

— 初等中等教育局主要事項 —

(単位：百万円)

事 項	16年度 予算額	16年度 概算要求額	比 較 増減額	備 考
1.義務教育費国庫負担金	2,512,846	2,544,255	31,408	負担率1/2
2.学力向上アクションプランの推進	4,771	9,171	4,399	
①学力向上拠点形成事業	0	926	926	
②スーパーサインスハイスクール	1,348	1,649	301	60校→80校
③イングリッシュハイスクール	510	612	102	85校→100校
④総合的な学習の時間推進事業	2,872	4,509	1,637	
3.命を大切にす教育の推進	1,069	1,426	357	
①児童生徒の心に響く道徳教育	597	667	70	
②豊かな体験活動推進事業	391	491	100	
③体験活動推進地域・推進校	263	378	115	
4.情報教育の推進	1,005	1,084	79	
①情報モラル指導サポート事業	0	137	137	新規
②e-japan実現型教育情報化推進事業	0	173	173	新規
③IT人材育成プロジェクト	1,005	773	▲ 232	
5.科学技術・理科教育の振興	2,763	5,044	2,281	
①理数大好きモデル地域事業	0	1,425	1,425	新規、30地域
②理科教育等設備整備費補助	1,282	1,500		
③目指せスペシャリスト「スーパー専門高校」	132	470	338	
6.環境教育の推進	491	611	120	
①環境教育推進グリーンプラン	100	120	20	
②豊かな体験活動推進事業	391	491	100	再掲
7.産業教育の振興	5,298	6,287	986	
①高等学校産業教育施設・設備整備費	5,051	5,648	597	
8.特色ある学校づくりの推進	70	279	209	
①コミュニティー・スクール推進プラン	0	152	152	

(注) 1.各事項の総金額とテーマの総計は一致しない。テーマは興味あるものだけ抜出している為
2.平成16年度金額は決定予算、17年度は要求額で決定ではない。

教材整備交付税措置額について（解説）

義務教育諸学校における教材整備は平成14年から18年度まで毎年860億円程度措置されることになっておりますが補助金ではなく地方交付税で措置されるため文部科学省の予算には入っておりません。そのため上記の概算要求の項目には教材整備に関する予算項目はありません。

毎年5月に文部科学省は都道府県教育委員会教材整備事務主管課長宛に「公立義務教育諸学校の教材整備について（通知）」を発信いたします。この通知により、当該年度の教材に係わる地方交付税単位費用積算基礎が確定いたします。

平成16年度の教材措置額についての文部科学省からの通知は5月18日に発信（平成16年初財第3号）されて、そ

平成17年度 文部科学省概算要求【Ⅱ】

－ IT関連予算主要事項 －

(単位：百万円)

事 項	16年度 予算額	16年度 概算要求額	比 較 増減額	備考
1. IT関連予算	129,360	149,806	20,446	
2. 学校教育情報化の総合的推進 〈子供たちの情報活用能力の育成、 わかる授業の実現〉	15,712	18,096	2,384	
① 学校教育情報化の総合的推進	758	1,084	326	
② 教育用コンテンツの充実・普及	745	709	▲ 36	
③ 教育情報ナショナルセンター機能整備	118	118	0	
④ 教員の指導力の向上	1,450	2,219	769	
⑤ 公立・私立学校等におけるIT環境整備	12,479	13,918	1,439	
3. 専門的知識又は技術を有する創造的 な人材の育成 〈高度情報通信社会を担う人材の養成〉	27,271	31,385	4,114	
① 大学等におけるIT基盤の総合的整備	26,683	29,526	2,843	
② 大学等における遠隔教育の推進等	388	155	▲ 233	
4. 生涯学習分野の情報化 〈IT活用による多様な学習機会の提供〉	1,005	1,084	79	
① 放送大学の充実・整備	9,796	12,810	3,014	
② 若年者の就業・職業能力の向上	0	503	173	新規
③ ITを活用した生涯学習の振興	637	735	98	
5. 情報化の影の部分への対応	5,035	6,816	1,781	
① 心のケアへの対応	4,451	5,787	1,336	
② デジタル・ディバイドの防止・解消	222	209	▲ 13	
③ 有害情報への対応	362	683	319	

(注) 1. 各事項の総金額とテーマの総計は一致しない。テーマは興味あるものだけ抜出している為。

2. 平成16年度金額は決定予算、17年度は要求額で決定ではない。

の内容は次のとおりです。

学校種別	測定単位	経費
小学校	学級数 (18学級)	3,400千円
中学校	学級数 (15学級)	3,200千円

このことから、小学校は1学級あたり188,888円(3,400,000円÷18学級)となり、中学校は1学級あたり213,333円(3,200,000円÷15学級)となります。交付税は自治体にとって何にでも使ってよいお金であることから学校現場で教材購入の希望がなければ他に消費されてしまいます。

全国教員発明考案品大募集!

先生方のアイデアが、 教育の可能性を広げます

応募要領

●応募作品の対象

小・中・高等学校、幼保の教育現場での使用を前提とした、教育上の効果や完成度が高い、実践的で実証事例に富んだ応募作品を求めます。

- 1.教材分野(教科で使う指導教具、学習材)
- 2.「総合的な学習の時間」分野(国際理解、情報、環境、福祉・健康、その他)
- 3.特別支援教育(盲・聾・養護・特殊)・福祉教育分野(教科、授業で使う教具)
※理科は除く

●応募資格

小・中・高等学校、特別支援(特殊)教育諸学校、大学、教育センター、幼稚園・保育所など各種教育機関の教員および職員の方。

●審査基準

・「発明考案品懸賞募集」にご応募いただいた作品は、審査員の先生方によって公正かつ慎重に審査いたします。

- 1.応募作品が教育現場で使用活用され、子どもの理解に役立つか

- 2.応募作品がアイデアに優れた独創的・発明的なものであるか
- 3.応募作品が“作品説明書”どおりに作動し、効果が確認できるか
- 4.応募作品は製品化が可能か、また製品化した場合、商品として販売が見込めるか

●「発明考案品コンクール募集」の審査方法

- 第1次審査：協会内審査委員会による審査
 - 第2次審査：協会が依頼した審査委員会の先生方による審査
 - 第3次審査：総合審査会による総合審査
- 以上の審査のほか、随時、現場の先生方のご意見を参考にします。

●提出期限と発表方法

年度募集：締め切り毎年12月末日。4月末発表予定

●提出先

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-17-1
(社)日本教材備品協会「発明考案品募集」係
TEL：03-3509-6898

提出のきまり

- 1.“この教材があれば効果が上がる”という独創的・発明的な考案品であることを条件とさせていただきます。
- 2.「現品」を添付してご応募いただくことを原則とします。
※ただし、考案品が大きさなどの関係で現品の輸送が困難な場合は、「応募作品を説明した書類」および「現品写真」「ビデオなどの動画映像(5分前後)」のみによるご応募も審査の対象といたします。
- 3.ご応募には所定の応募用紙をご使用ください。応募用紙は当会事務局にお申し込みください。
- 4.応募点数に制限はありません。ただし、他の発明考案に応募していないものとします。

賞金

- 1等賞…50万円+賞状・楯
 - 2等賞…30万円+賞状・楯
 - 3等賞…10万円+賞状・楯
- 入選…2万円+賞状・楯

賞外…参加記念品

※入賞の数には制限がありません。

発行 社団法人 日本教材備品協会
〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-17-1 第5森ビル9F
TEL. 03(3509)6898 FAX.03(3504)1935
URL <http://www.jema.or.jp>